

第685回: 白髪三千丈の政治学

いま北京で開催中の北京冬季五輪。主宰者の中国は、本土内では(情報統制も含めた)オミクロン株の制御問題、対外問題としては米国や EU による五輪ボイコット処理などに直面しており、その関係もあって、華やかなオリンピック行事の背後で、様々な政治的葛藤が蠢いているようだ。

そんな複雑な国内外情勢もあり、中国共産党の最高指導部を決める(5年に一度の)党大会が1年後に迫る中、3期目入りを狙う習近平総書記(兼国家主席)にとって、いま一番大事なのは安定であり、政権喫緊の課題は次期指導部の発足を睨んだ体制固めと、北京冬季五輪の円滑な開催と平穏な閉幕にある。

「乃公出でずんば蒼生を如何せん」の固い決意で、前人未到の3連投(毛沢東を除けば)を目指す習主席。ここで恭順の意を示さないと、後でどんな仕返しがあるか分からないと考えた政権幹部たちは、五輪直前に挙行された結団式で、中国選手団(蒼生に)「総書記に従い共に未来へ向かう。領袖に報いるため、捨て身で臨みます」と宣誓させるなど、ゴマすりに余念がない・領袖は毛沢東のみに使われる表現なのだが。

開会式では主宰都市の北京を代表して蔡奇・党委書記が、「尊敬する習近平主席、彭麗媛夫人、バツハ会長」と来賓よりも先に自国首脳への敬意を表明し、北京五輪が「習主席向けの行事」であることを、満天下に堂々と披露してくれた。

もちろん、こんな大事なセレモニーで、居眠りする人などいる訳がない・とっていたら、たった一人いた。ロシアのプーチン大統領が、ウクライナ選手団入場時に居眠りをしているように見える映像がインターネット上で話題に……。ウクライナ情勢を巡り、悪役プーチンといえども、軟着陸を目指し不眠不休の努力を続けており、疲労困憊で北京に駆け付けたと好意的に解釈しておこう。

閑話休題。習近平指導部は2012年の政権発足時から、党内の綱紀粛正、腐敗追放キャンペーン、少数民族の制御、香港の統制、民営企業への規制など専制体制の更なる強化に邁進しており、異例の三連投が実現する可能性は高そうだ。

ただ中国史に権謀術数はずきものであり、僅か建党100年の現代史の中ですら、屢々チョットした事件をきっかけに、大きな政治変動が過去何度も発生しており、最後まで油断は禁物。

中国史を紐解けば、中国人が政権闘争や権力闘争を好むのは明らかだ。でも、自ら文化人と恃む為政者たちは、“敵の名指し”や“露骨な批判”を嫌う。文化大革命の火種となったのは、上海の党宣伝部員が執筆した「新編歴史劇『海瑞罷官』を評す」なる論文であった。この論文は、黒幕の毛沢東が後に四人組の一人となった上海宣伝部の姚文元に命じて作らせ、歴史劇の著者である呉晗・北京市副市長を「反動的」と批判することにより、最終的に彼の上司である劉少奇・国家主席(ポスト毛の大本命)や、次期ニューリーダー候補の彭真・政治局委員や鄧小平・党中央総書記たちを炙り出すための餌として利用された。

毛沢東が亡くなる前年1975年には、中国人の愛読書・水滸伝を批判するキャンペーンが全国で発動された。水滸伝の英雄豪傑108人の首領である宋江(そうこう)が、前首領の晁蓋(ちやうがい)を棚上げして実権を握り、梁山泊の首領となった挙句に、朝廷(宋朝)に帰順したことは「投降主義」的であり、革命への裏切りであるとして、労働者や学生たちを動員する騒擾運動となった。このデモを指揮したのは悪名高い四人組だが、彼らの真の標的は、毛沢東に次ぐNo2の周恩来首相批判であった。

周恩来は若い頃、コードネーム“伍豪(=5号)”として上海で地下活動を行っていたことがあり、一時期「共匪の伍豪が国民党に投降した」との噂が流れたことがあり、それを現代に甦らせるため、水滸伝批判に

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

名を借り、周恩来の追い落としを狙った・・説明に四苦八苦するほど回りくどくて陰険な陰謀であった。

その水滸伝。明代に書かれた長編白話小説で、中国では「西遊記」、「三国志演義」、「金瓶梅」と共に、「四大奇書」に数えられている。時代は北宋、徽宗皇帝の時代。今の中国と大差はないような気もするが、腐敗や汚職が蔓延り、腐敗官僚が跳梁跋扈する世の中で“上官に逆らった”、“賄賂を拒絶した”などの事情により、世間からはじき出された好漢 108 人が、様々な戦いを經由して、水と山に囲まれた山東省の要塞・梁山泊に集結し、彼らは腐敗官僚たちを打倒し、宋朝を救うことを目指すようになる。

水滸伝は最終的に、宋の時代から 200 年以上経った明の時代に長編小説として完成することになるが、もともとは宋朝の頃から人口に膾炙してきた「講談」がルーツである。

日本の平安時代に相当する宋朝は、軍事的には極めて弱い国で、最終的には遼(契丹)、金(女真)、元(蒙古)の異民族に呑み込まれていくが、経済的には史上最大の大国であった。

地球の気温が温暖化に向かっていった時期という幸運もあったが、二期作が可能なベトナム米の普及や、強い火力を有するコーカスの普及などにより、漢の時代から一貫して 6 千万人前後で停滞していた人口が増え始めた。英国の経済学者が唱えた「マルサスの罠」から、(一時的ではあったが)中国もやっと抜け出すことに成功し、本土の総人口は、この時代に約 1 億人に増え、一人当たり GDP も大きく増加した。

この結果、宋の時代には都市部に“夜の街”が続々と誕生するようになり、飲食を楽しむ「酒客」、講談や京劇などを楽しむ「観客」、そして別の楽しみを求める「嫖客」や「賭客」たちが夜遊びをするようになった。

そんな中で人気を集めたのが水滸伝、三国志演義、西遊記などの講談である。講談である以上、文章の格調なんかよりは、客受けを狙って多数の観客を集めないことには商売が成り立たない。

そこで六十二斤の錫杖を振り回す花和尚・魯智深が柳の木を根っこごと引き抜き、神行太保・戴宗が足に護符を貼り、一日八百里(400 キロ)を駆けることになるのである。本朝「源平盛衰記」では、大力の畠山重忠が鶴越の逆落として、大切な馬を損ねてはならじと馬を背負って坂を駆け下る場面があるが、これも講談の世界であり、水滸伝と同じような発想だろう。

いずれにしても、中国白髪三千丈のルーツが講談にあるのは間違いないことだ。

レーニン「何をなすべきか」の中で、宣伝と扇動を区別し、宣伝は為政者に対し理性的に書面で行い、扇動は大衆に声で感情に訴えかけ、この宣伝と扇動をうまく使い分けるのが権力掌握の鍵と断定している。

中国共産党の創設者毛沢東は、レーニンの考えを三国志や水滸伝を通じて会得したようで、中国人なら誰もが知っている宋江や曹操たちのエピソードをうまく利用しつつ、ある時はイデオログの世界で冷徹に政敵を断罪し、ある時は白髪三千丈スタイルで大衆運動の動員に成功したと云える。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2022 年(令和 4 年)2 月 15 日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007 年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3